新千葉新聞

新千葉新聞社
〒292-0067
木更津市中央2-10-3
電話 22-3849(本社)
FAX 25-1684
Email shinchiba@nifty.com
編集兼印刷発行人
石井久喜

ベトナムから介護人材を

梅香会と、かもめGで各二人を採用へ

木更津市等三会場結び　ズームで初の面接会

木更津市は介護分野における外国人技能実習生受け入れに向け十五日（金）に、ベトナム社会主義共和国ダナン市と、ズームによる初の面接会を実施した。ベトナムからの介護人材受け入れについては、平成三十一年三月に森田健作千葉県知事がベトナムを訪問した際に「覚書」を締結、その後令和元年七月に、木更津市とベトナム・ダナン市との間で「友好協力関係機構に関する覚書」を結んだことによるもの。

木更津市では同覚書締結に伴い、介護人材を円滑に雇用するために「一般社団法人かずさ医療福祉社人材育成機構」（木更津市内の介護・医療福祉施設法人六法人の集合団体、幹事法人・社会福祉法人梅香会、以下法人）を令和元年七月に設立した。

同法人に所属する介護事業所は、当初ベトナム・ダナン市を訪問して、現地で初の「採用面接会」を実施する予定だったが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、今回はZoomを利用した面接会となった。

同面接会には木更津市とベトナム国ダナン市など行政の全面的なバックアップで実現した。

木更津市内の介護事業者（社会福祉法人梅香会、医療法人社団邦清会・かもめグループ）二介護事業所が参加した。

先ず、木更津市の田中幸子副市長（市長代理）が冒頭の挨拶を行い、続いて、梅香会理事長の重城明男金田クリニック重城理事長（写真上）、小島康彦かもめグループ代表が現地に向けて期待を込めた歓迎の挨拶を行った。

続いてベトナムの面接者九人が、三十分間の筆記テスト、そのあと介護事業所別に面接が行われた。

ベトナムの人々は日本人同様「勤勉性、協調性、家族思い、責任感が強い」などの国民性であり、面接者はベトナムの求人募集や各種学校よりエントリーされた人々で、日本（木更津市）での就業意識が極めて高いという。木更津市の二介護事業所は、「今回の面接会でぜひ採用に結び付けたい」との強い思いで参加しており、面接会終了時に二事業所はそれぞれ二人ずつの採用者を決定した。今後採用決定者は、コロナの感染状況を見ながら概ね夏頃の入国が予定され、同法人においては「入国並びに就業体制等の整備」について整えていく予定。

同面接会で田中副市長は、ダナン市との覚書締結後の二〇一九年十一月に自らがダナン市を訪問して木更津市や介護職についての紹介を行ってきたことに触れながら、「木更津市として出来る限りのサポートをしていく」などと面接会への参加に感謝した。

重城法人代表はベトナム人の勤勉性や家族思いなどの人柄に触れながら、「介護の仕事は人を思いやる気持ちがなければ務まらない。皆さんは有能な方々。一緒に働けることを楽しみにしている。今回面接に参加した企業はコロナの感染者はいない。安心して勤務してもらえる」などと歓迎の挨拶を行った。

（写真下は、木更津市内でWEB面接会をする重城理事長）

たWEB面接会とし、「木更津市役所駅前庁舎八階市長応接室」、「金田クリニック重城（梅香会）、「ダナン市・プリリアントホテル ダナン」の三会場を結んで行われた。

初の共通テスト始まる

県内志願者は前年度より三二三人減少

二日間にわたり　清和大学でも実施

一九九〇年一月から三十年続いてきた大学入試センター試験に代わり、二〇二一年第一回目の「大学入学共通テスト」が、十六日（土）から二日間の日程で、全国六百八十一会場で一斉に始まった。

新型コロナウイルス感染拡大で十一都府県で緊急事態宣言が発令される中での実施。

大学入試センターによると今回、志願者数は、前年度より二万二千四百五十四人（四・三％）と前年比一・〇％増。

共通テストを利用するのは全国の国立・公立・私立の大学や短期大学で、前年度より八校増えて過去最多の八百六十六校に上る。

千葉県内では、初日、千葉大学の七会場で行われ、前年度より三百二十三人少ない二万五千五百四十六人（男一四、六一七人、女一〇、九二九人）が志願した。

その内の一つが県南の会場・清和大学（法学部・木更津市）。主に君津と安房地域を中心とした志願者五百二十八人のうち、午前九時三十分からの「地理歴史」「公民」の二科目選択者と、午前十時四十分からの一科目選択者では、二科目選択の二百三十八人が各一時間の試験に臨んだ。（受験科目により受験者数は変わる）

午後から国語（一時～二時二〇分までの一時間二〇分）、外国語（三時一〇分～四時三〇分、同）の試験が行われ、最後に例年通り、IC（集積回路）プレーヤーを使い英語の聞き取りを行う「リスニング」（五時一〇分～六時一〇分までの一時間）が実施された。

また、きょう十七日（日）も理科と数学の試験がある。科目は理科（「物理」「化学」「生物」「地学」）、数学は「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「簿記・会計」「情報関係基礎」等。（写真は、今年初日の清和大学での午前中の試験会場の様子）

社説

介護百人一首（戦禍）

「ケロイドの全てを見せて介護享（う）くろうと懸命だったこと（兵庫県・中村弘女）」、「シベリアの寒い荒野をさまよいて　父は友垣（ともがき）背中で運んだ（埼玉県・米山直昭）」、NHK介護百人一首二〇一八、入選作品より。

一首目、戦時中、空襲に遭い、大きな火傷を負われた。乙女たちは「銃後の守り」と逃げ出さなかったと詞書（ことばがき）がありました。銃後といえども命がけで、日本を守ろうと懸命だったことがわかります。娘時代から、ケロイドを隠しながら戦友を背負って歩いたこと、その寒さや、背中の重みを折に触れ息子に話したそうです。もう歩くこともできない程弱ってしまった戦友を見捨てることはできなかったのです。

「友垣」は、「友一」や「友達」と同じ意味で年来のコロナ禍で別れの場面が様変わりしている。コロナ感染拡大防止を目的に限られた親族での見送りがほとんどである。緊急事態宣言発令中でもありの意味・尊さが身に染む。言葉はなくても、顔を見て、目を合わせれば、雰囲気でも相手の思いがわかる。コロナは現代の戦争。人の流れを止めることで戦禍が収まることを信じたい。

二首目、米山さんの父は荒涼とした厳寒のシベリアで、さまよいながら戦友を背負って歩いたことや、背中の重みを折に触れ息子に話したそうです。もう歩くこともできない程弱ってしまった戦友を見捨てることはできなかったのです。

「友垣」は、「友一」や「友達」と同じ意味で年来のコロナ禍で別れの場面が様変わりしている。コロナ感染拡大防止を目的に限られた親族での見送りがほとんどである。緊急事態宣言発令中でもありの意味・尊さが身に染む。言葉はなくても、顔を見て、目を合わせれば、雰囲気でも相手の思いがわかる。コロナは現代の戦争。人の流れを止めることで戦禍が収まることを信じたい。

寒さ厳しい寒中である。不慮の事故や病気療養中、老衰など、一年の内で最も寒いこの季節には様々な人生の別れがある。しかし昨